

H28.8.5「昭和61年8月5日洪水から30年イベント」を開催

- 平成28年8月5日、大崎市鹿島台の鎌田記念ホールにて、「鳴瀬川等の減災に係る取組方針」の一環として、「昭和61年8月5日洪水から30年～水害の記憶を未来へ～」と題し、各種行事を開催しました。
- 洪水到達水位標除幕式、異常気象と防災についての講演会、親子お天気教室、熱気球体験、簡易アラート装置の実演会、災害対策車展示、パネル展、ゲリラ豪雨展等の各種イベントを実施しました。
- 約400名の方にご参加頂き、地域の方々等の水防災意識を高めるきっかけとなりました。



洪水到達水位標除幕式



簡易アラート装置のデモンストレーション



熱気球体験

(S61.8.5洪水で被害を受けた鹿島台市街地等を上空から見学)



藤森氏による基調講演「異常気象と防災」



親子お天気教室



災害対策車展示
(ポンプ車、照明車等)



パネル展・ゲリラ豪雨展